

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2015

11

Vol. 4 No.11



口絵		
地質系博物館の紹介— 韓国天然記念物センター —	田中 剛・ユンリーナ	313~314
大阪湾岸の東西性正断層「高石断層」と深部流体の貫入モデル	杉山雄一・今西和俊	315~331
新刊紹介 うなぎ 一億年の謎を追う	七山 太	332~333
GSJ 交差点		334~335
第14回 地圏資源環境研究部門 研究成果報告会 ポスター		336

表紙説明

航空機から撮影された鬼界カルデラ北壁の断片，竹島と薩摩硫黄島

薩摩硫黄島と竹島は、鹿児島県薩摩半島の南方の海域にあり、約 7250 年前に噴火した鬼界カルデラ に関連する火山噴出物から構成されている、カルデラ北壁の断片である。薩摩硫黄島は、現在も活発な噴火が続いている活火山である。一方、竹島に認められるこの時噴出した火砕流堆積物は、大規模火砕流として薩摩半島南縁や屋久島を襲い、また、同時に噴出した鬼界アカホヤ火山灰は、東北地方に到る日本の広範囲に降り積もり、縄文時代の早期と前期の境を示す重要な広域テフラになっている。

(写真・文：七山 太¹⁾ 1) 産総研 地質調査総合センター地質情報研究部門)

Cover Page

Takeshima and Satsuma-iwojima islands as fragments of northern wall of the Kikai Caldera taken from an airplane.
(Photograph and caption by Futoshi Nanayama).